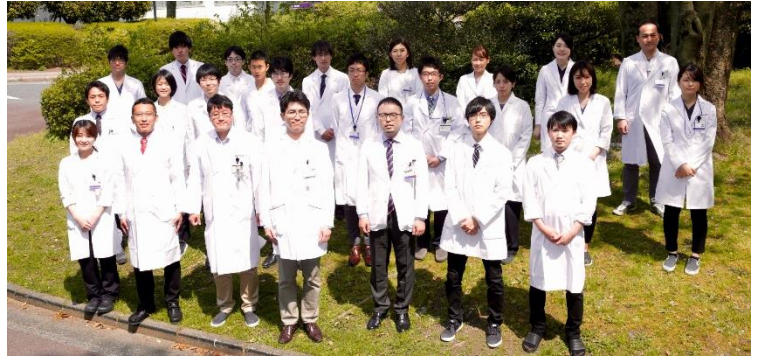


プログラムの概要

私たち第三内科は腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、膠原病内科の3分野が主な担当分野です。初期研修・後期研修ともに「specialityもgeneralityも～志高く両立を目指して～」を基本コンセプトとして、研修プログラムを立案しています。私たち第三内科はメンバーそれぞれがいずれかの分野で臨床や研究活動を通じてスペシャリストになることを目指していますが、私たちは〇〇内科医である前にまず一人の内科医として内科のどの範囲・分野も最低限の知識や技能を身に付けていてもらいたいとも考えています。

①特定分野に特化し高い知識・技能・経験を有するスペシャリスト、②ポリバレントなユーティリティを発揮し、どんなセティングでもどんな問題にでも柔軟に臨機応変にまんべんなく及第点の対処ができるジェネラリスト。今までは二項対立、究極の選択などとして語られがちだった両者ですが、皆さんにはこの両者どちらかの選択ではなくその融合・統合を目指してもらいたいと考えています。



第三内科はそもそもの守備範囲が腎、糖尿病・内分泌、リウマチ膠原病と広く、まさにポリバレントであることを要請されている内科医集団です。またただ広範囲だけでなく、例えば透析患者さん、糖尿病患者さん、ステロイドを使用中の膠原病患者さんなど、時間的にも長期にわたってお付き合いしていく患者さんが多く存在し、その経過の中では心筋梗塞、間質性肺炎、感染症、大腸癌など、もともと広範囲な中さらに私たちの専門分野も越えて問題の範囲が広がる事態も生じ、総合力を試されます。

このような環境で第三内科で研修を行い、スペシャリストでありながらジェネラリストとしても精進し、両者が融合された新しい「ジェネシャリスト」に皆さんには育っていただきたいと考えています。スペシャリスト・ジェネラリストどちらに進むべきかといった不毛な究極の選択はやめにしてぜひ第三内科での研修を通じてどちらも目指してみませんか？

三内で培う 医師としての未来

『臨床・教育・研究』を3本柱として医局の活性化に努めています。

3年後、5年後、10年後 あなたはどんな医師として働いていますか？

あなたのキャリアプランを共に考え、サポートします。第三内科は時代とともに変化する『医局』の在り方を本気で考え、『魅力ある医局』を目指して改革に取り組んでいます。私たちと一緒に第三内科の未来をつくっていきませんか。

ただ希望に満ちてはいても、現状私たちの**第三内科は残念ながらまだまだ小所帯**です。一緒に仕事をしてくれる若い先生たちをもっと迎えられれば、さらに色々な仕事をできるのという思いを、メンバー全員で共有しているところです。新たな若い先生たちを迎えるための王道、それは今いる若い先生たちを大事に丁寧に立派に育てること、それを見てあとに続いて来てくれる若い先生がもっと増えてくれたらいい、このような考えのもと、医学生さんから始まり、初期研修医の先生たち、そして入局してくれた若手医局員の先生たちと、第三内科に連綿とつながってきているこれらの人たちの成長を大事にし支えることを組織の大きなミッションの一つとして捉えています。

具体的な研修内容

糖尿病・内分泌グループ、腎グループ、リウマチ膠原病グループのいずれかに属し、原則としてそれぞれ4～8週間ずつ研修を行います。通常、6-8症例の患者を受け持ち、平均的に1.5ヶ月の研修で糖尿病20例、内分泌代謝疾患13例、腎不全15例+透析10例、またはリウマチ膠原病12例(一部重複あり)を経験することができます。指導体制としては、卒後10年以内の若手医師とそれ以上の指導医と屋根瓦でチームを組み、実際の指導を行っています。初期臨床研修・後期臨床研修の時期に応じた献身的な教育を心がけております。有意義な研修ライフを送っていませんか。